

## 第13回（2013年）ぎまひまわり写真コンテスト全体講評

### 【全体講評】

「ぎまひまわり写真コンテスト」も回を重ね第13回を迎えました。今回のコンテストでは、応募点数が804点、応募者が338人と、点数・応募者共に前回と比較し減少してしまいました。このことは、応募期間が短かったことが直接の要因と受け止めています。しかしながら、広範囲にお住まいの方から応募をいただき、作品の質も大変に高いことからこのひまわり写真コンテストが皆様に愛される事業としてますます定着してきたものと嬉しく感じております。

次に、応募作品の傾向についてご説明いたしますと、ひまわり畑の広さに変化をもたせて表現したもの。夕焼けとひまわりを組み合わせ夕方の雰囲気を与えたもの。夏の日の暑さの中で元気に育ったひまわりを健康的に創り上げたもの。子どもや家族を取り込むことで幸せ感を打ち出したもの。蝶や蜂などの昆虫を取り込んだもの。ペットをモデルとして撮影したもの。まつり会場の雰囲気が感じられるものなどなど・・・実に幅広い対象を写した作品をご応募いただき、主催者であります座間市観光協会さらには各賞の提供団体にとりましても喜ばしいことと伺っております。また、応募された方の年齢も9歳から83才の方までと大変幅広い年齢層にご指示いただけたもので心強く感じております。

入賞作品につきましては、全応募作品の中から21作品を選出し、その中の11作品に賞の名称を付し、他の10本を入選としました。11賞を獲得された方の作品にはそれぞれに寸評を記しておきましたのでどうぞご覧ください。惜しくも入賞（21作品）を逃した方の中にも良い作品が多数ありました。特に同じものを撮影対象とした作品が複数の方からご応募いただいた場合、また、なにぶんにも入賞数を21作品に絞らなければならないという審査基準の中で、残念ながら含めることができなかった作品が多くありました。この点は審査に携わる者として大変心が痛みます。作品は年々レベルアップしており応募くださる写真愛好家の質の高さを感じております。

なお、このコンテストはまた来年も続けて開催する計画です。一人でも多くの皆様にご参加いただきますよう関係者一同努力し心よりお待ち申し上げますので、ご応募いただきますよう宜しくお願い申し上げます。この度の「ぎまひまわり写真コンテスト」審査員の感想とさせていただきます。皆様とはまた次回にこの会場でお会いできることを期待いたしております。

平成25年10月16日

写真家 高橋ぎいち